





# 身寄りない患者に 保険かけないか

## 医師装い看護婦だます

### 40人から200万円

#### 大阪 医療器会社の2人逮捕

大阪市中央区にある医療器具製造販売会社の営業課長と部下の係長が出入り先の病院などの医師になりまして病院に電話をかけ、当直中の看護婦に「私の知っている身寄りのない患者に生命保険をかけないか」と架空の保険制度をでっちあげ、保険の掛け金名目で現金をだまし取っていたとして、大阪・東成署に詐欺の疑いで逮捕されたことが二十四日、わかった。課長らは京阪神の看護婦約四十人から各五十万円、計約二千万円を詐取したと自供。だまされた看護婦らは、患者に保険をかけるのはおかしいと疑問に思ったが、断ると先生が気を悪くすると思った。保険金がほしかったわけではない」といっている。



安沢 功  
容疑者

逮捕されたのは課長の大阪府箕面市百楽荘四の六、安沢功三三、係長の大阪市東淀川区井高野四の四、岩城巧児三三両容疑者。



岩城 巧児  
容疑者

調べによると、安沢容疑

者は昨年十二月二十五日午後八時ごろ、大阪市内の総合病院看護婦詰所へ大阪三三に「身寄りのない行き市立大付属病院から診療に倒れの患者に保険をかける

一九九〇年四月二十四日読売新聞五刊

と思っ  
てい  
る。

なん  
らか  
の形  
で、  
意見  
を伝  
え

ても  
ら  
い  
た  
い  
と  
思  
う。

ニ  
ユ  
ー  
ス  
は、  
で  
き  
る  
だ  
け  
効  
力  
が

し  
て  
だ  
し  
続  
け  
た  
い  
と  
考  
え  
て  
い  
る。

さて、話、変わって、右の新

聞記事、身寄りのない行き倒れ

の入院患者に、多数の看護婦が

保険をかけていた。それがガギ

だった、という話なのだが、も

どちら人、患者には実害はない。

直接の被害はないが、看護婦が

保険をかけて死ぬのを待つてい

ると知りば、とてもじやないか

平静ではあられまい。毒でも盛

制度がある。保険会社の幹

部や医師も加入しており、

安心できる。一口五十万円

で、患者が亡くなった場合、

あなたには百万円の保険金

が入る」などと加入者の人

数に応じて保険金が頭割り

で支払われる架空のグルー

プ保険制度への加入話を持

ちかけた。翌日、保険会社

員を装った岩城容疑者を出

向かせ、この看護婦から五

十万円を受け取った疑い。

両容疑者はこれを含め、

同市立大医学部や関西医科

大などの実在する講師や助

手を名乗るなどして、昭和

六十三年七月から今年三月

までの間、大阪、兵庫、京

都などの病院の看護婦約四

十人から次々、同様に「保

険料」をだまし取ったこと

を自供している。

安沢容疑者は大病院な

どから当直勤務に来ている

医師は看護婦にあまり声が

知られていないことに目を

つけれ、

「オレや。ドクター

や。患者はどうか」などと

電話で切り出し、看護婦が

「〇〇先生ですか」という

と、勘違いを利用し、その

医師になりすますなどして

いた。

保険の加入の際には証書

類も領収書もなかったが、

グループ制度で医師も加入

しているように見せかけた

ため、看護婦らは信じた

という。

一部の看護婦が名前をか

たられた医師に問い合わせ

せ、だまされたことに気付

いて届け、同署が内部事情

に詳しい者の犯行とみて捜

査、人相などから出入り業

者の両容疑者を割り出し、

今月三、四日に二人を逮捕。

調べに対し、二人は「看護

婦は先生に弱く、だますの

は簡単。詐取した金は神戸

・三宮のバーなどで飲み食

いに使い果たした」といっ

ている。

られるのではなかりかと。心配で

治療に専念することができなく

なる。

身よりがなく、福祉で入院し

てるといふことで、なぜ、こん

な心配まで背負わなければならない

のだ